

跗灸で 健やかに!

23

登美ヶ丘治療院院長

野口 創



腱鞘炎の鍼治療

関節を動かす筋肉の力を四肢の先端に伝えるひも状のものを腱(けん)と呼び、腱は、腱を固定する腱鞘(けんしやう)という下

ンネルの中を通っている。腱と腱鞘の摩擦で起きた炎症を腱鞘炎といい、正確には狭窄(きょうさく)性腱鞘炎と呼ばれる。

腱鞘炎を起こすのは、手や指の酷使(例えば弦楽器奏者、手先の

時に、曲がったまま伸びにくく、曲げようとする時に、なかなか曲げられない。すべての指に発症するが、特に親指、中指、薬指に発症することが多い。痛みは手のひらの指の付け根に現れ、初期は痛みを伴わない時もある。炎症が進行すると痛みが強まり、指を伸ばす時には、弾かれ音がすることもある。

手根管症候群⇨手根管が手首内側中央にある正中神経を圧迫し、指先のしびれ、冷え、知覚鈍麻、母指の運動障害などが起こる。悪化する と親指の筋萎縮(いしゅく)が起こる。

炎症軽減と体質改善

細かい反復作業に疼痛(どうつう)が起こる。タオルを絞ったりすると手首の親指側が強く痛む。

現代医学における腱鞘炎治療は、手術以外では、炎症などを抑える薬の服用、患部にステロイド剤などを注射、低周波電気治療、冷やしたり温めたりする治療などがあるが、慢性化した腱鞘炎は治療するまでに時間がかかる。

中国医学では、鍼灸治療で二つの角度から治療する。対外療法的に炎症を起こしている腱鞘、周囲の筋肉を中心に治療し、腱鞘の炎症、腫れやむくみを軽減させ回復させる(鍼灸治療によって、局部の血管が拡張し、血流が改善され、増加した免疫細胞が腱鞘の炎症を鎮める)。

減軽むくみ
治療・むくみ軽減
炎症・防止
鍼灸再発防止



類

バネ指⇨指を伸ばそうとする

もちつは、

ホルモンバランスなどを整える根本治療、冷え

性体質、虚弱体質などを改善することで、再発しにくい体調へ根拠的に治す。

野口創氏の略歴

1992年

鍼師、灸師、按摩・マッサージ・指圧師の免許取得。カナダ(トロント)指圧ワリニックで研修・勤務。

1994年

中国、北京中医药大学に留学。北京中医药大学付属病院や中日友好病院で研修。

中国南陽市張仲景国医大学で李世珍教授に師事。

1998年

登美ヶ丘治療院開設。

※中国語、英語対応

登美ヶ丘治療院

奈良市中登美ヶ丘

6の1の1 (学研奈良登美ヶ丘駅)

▶電話・ファクス 0742 (48) 5556

▶ホームページ <http://www.tomigaoka.com/>